

つばめだより

<https://www.seishinchiku-catholic.com/>304号 2026年
7月〒424-0931 静岡市清水区岡町 1-3 4
TEL 054-368-5295 FAX 054-368-5292

「あなたの慈しみはわたしの目の前にあり
あなたのまことに従って歩き続けています。」

(詩編 26・3)

映画「日本誕生」と「天地創造」

八幡教会信徒 露無雅子

日頃、国内旅行は長年の関心事であるキリシタン遺跡の巡検が多いのだが、今春予定になかった地に立ち寄った。松江市東出雲町の黄泉比良坂（よもつひらさか）である。

古事記にあるイザナギ命が亡き妻のイザナミ命を追って行き着いた、あの世とこの世の境目という伝承地である。黄泉の国の入り口をふさいだという大きな岩があり、亡くなった人への手紙を投函するポストまで設置されていた。メジャーな観光地でないせいかひと気もなく鬱蒼とした木立からは心なしかひんやりした霊気のようなものさえ感じられる。

小学生の時に見た映画「日本誕生」の場面が臉に蘇る。語り部の稗田の阿礼がつむぐ神話の世界に子供心に知ったのは、古代の日本人は万物に神々が宿ると信じていたらしい、と。長じて、日本ではこの多神教が発展して神道となり、加えて礼節を重んじ祖先を敬う儒教と、解脱を求めて輪廻を信じる仏教を取り入れた。これらが一神教のキリスト教が伝来するまで日本人の精神土壌となった、と浅学ながら会得した。

もう一つの映画を思い出す。1966年に封切られた米伊合作の「天地創造」は、旧約聖書の主だった物語をオムニバス形式で描かれた作品である。これも神話じみているものの世界は創造主という唯一の神によって作られたという主張は一貫している。16世紀になって初めて西欧人の宣教師に相まみえた日本人は、自分たちが親しんできた神道や儒教、仏教を認めない彼らの姿勢に、戸惑いを覚えたことだろう。人はデウスを信じることで救われるのだと教えられた信徒から「それではデウスを知らなかった父や母、祖先たちは救われないのか」と悲しそうな顔で問われた宣教師たちも又、答えに窮したことであろう。

キリシタン時代から400年たった現代の日本に限って言えば、多様性が声高に叫ばれるようになったが、世界では有史以来宗教間の争いが絶えることはない。人は自分が信じるものに熱心であればある程それに固執し、排他的になるのであろう。戦争は皮肉にも正義感が強い者たちによって引き起こされる。

「日本誕生」と「天地創造」が奇しくも同時代の1960年代に封切られたことは、宗教の違いにこだわらない象徴的出来事なのかもしれない。

敗戦から20余年。荒廃した風土にあって激変した価値観に翻弄されながら人々は立ち上がり、抑圧の無い中で異なった宗教を受け入れた。単なる娯楽映画として封切られたものであったとしても、その融通無碍（ゆうずうむげ）こそ本来の日本人の国民性なのではないか、と思ったりしている。



2026年 7 月の予定と奉仕者表

月日	曜日	時間	典礼・祭日・祝日等	時間	集い・各部活動及び内容
2	木	10:00	平日のミサ		
3	金	10:00	初金のミサ(草薙教会)		
4	土			9:30	「聖書の言葉で祈る」黙想会 テーマ「固有の召命」(千代田教会) ～16:30
5	日	11:00	年間第14主日 ミサ	12:15	教会学校中高生部
				13:15	教会委員会
		14:30	ポルトガル語ミサ	15:00	静清地区教会学校連合リーダー会(清水教会)
9	木	9:15	平日のミサ		
11	土			13:30	静清地区聖書研究会(静岡教会) 指導:古川神父様 ～15:00
12	日	11:00	年間第15主日 ミサ	11:30	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会)
16	木	10:00	平日のミサ		
17	金			9:30	つばめ編集会議(原稿締切7/15)
18	土			18:00	ブラジル共同体 ロザリオの祈りの集いとカテケーシス
19	日	11:00	年間第16主日 ミサ	12:15	教会学校
23	木	10:00	平日のミサ		
24	金			13:30	レクチオ・ディピナ「つちや会」
26	日	11:00	年間第17主日 ミサ	11:30	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会)
30	木	10:00	平日のミサ		

奉仕者表

日	曜日		第1朗読	第2朗読	先唱者	侍者		祝祭日	司式司祭	お掃除
7/5	日	第1週	宮本	西村	山下ゆ	松浦	古牧		濱田	オルガン側
12	日	第2週	田代	フィリピンの方	村岡明	松浦	大城		濱田	マリア像側
19	日	第3週	瀧	山本	五十嵐	松浦	古牧		濱田	オルガン側
26	日	第4週	齊藤	フィリピンの方	磯部	松浦	大城		濱田	マリア像側

ひとやすみ



私の名前はナナ。ラブラドルです。

私の楽しみは、もちろん毎日のお散歩。でも、それと同じくらい楽しみにしていることがもうひとつあるの。それは、主人が入れるコーヒー。毎朝 8 時頃になると、主人はドリップでコーヒーをいれるの。午後 2 時頃にもいれるし、お客様が来たときも、そのたびに丁寧にコーヒーを点てるんだ。コーヒーのいい香りがふわっと漂ってくると、私はしっぽを振りながら急いで主人のそばへ行く。そして横に座って待つ。だって主人はいつもコーヒーを分けてくれるから。待っている間は嬉しくて、つい口の端からよだれがたれてしまう。ちょっと恥ずかしいんだけど、その姿を見てみんなが笑うから、まあいいかな。

私はミルク入りのコーヒーが大好き。でもね、インスタントコーヒーや缶コーヒーは絶対に飲まないの。やっぱり主人がドリップしたコーヒーが一番おいしいから。

食べることが大好きな私だけど、コーヒーだけは特別。主人の一杯に限るワン🐾🐾🐾

パウロ 村岡 忠勇

- ・毎週木曜日の午前10:00から清水教会聖堂でミサを行っています。7月は2日、9日(9:15から)、16日、23日、30日の各木曜日です。当日のミサ準備をしていただける方を募集しています。また、朗読奉仕は当日ミサに出られた方の中からお願いします。
- ・7月3日(金)は午前10:00から草薙教会聖堂で初金のミサがあります。

「神に従う者の行く道は平らです。

あなたは神に従う者の道をまっすぐにされる。

主よ、あなたの裁きによって定められた道を歩み

わたしたちはあなたを待ち望みます。

あなたの御名を呼び、たたえることは

わたしたちの魂の願いです。」

(イザヤ 26・7～8)



教会委員会報告

6月7日(日)13:15～15:15

於：清水教会

(出席者) 濱田壮久神父 代表委員:村岡 明代、財務担当:谷田 千恵子 財務補佐:齊藤 倫子 総務:金指 公代
 典礼委員:松浦 史明 教会学校:山本 博美 「祈る力を育てる部門」瀧 規子「信仰を伝える部門」山下 ゆふ
 コムニタス:石月 中 静清地区共同宣教司牧担当:齊藤 倫子 フィリピンコミュニティ:土橋 レイ 古牧 ルビー

1. 財務より

- ・4月月定・ミサ献金 429,830円 四旬節愛の献金 55,696円 建設献金 1,204,000円
- 5月月定・ミサ献金・司祭寄付金 456,482円 祭儀献金 400,000円 建設献金 277,740円

2. 典礼委員会

- ・6/7(日) 濱田神父様より松浦氏への梅村司教様からの臨時の聖体奉仕者の任命書交付式実施
- ・6/4(木)から10:00平日ミサが開始。ミサは11名が参加、清水教会以外の信徒も3、4名が参加。

3. 教会学校 4/18(土)ミサ中子どもの祝福式実施、16名参加。5/17(日)10名参加。

- ・6月以降の予定 7/5(日)教会学校中高生会。 7/19(日)教会学校。
- ・静清地区合同の教会学校夏のイベントの参加費について 参加費2,000円は全額補助。

4. 「祈る力を育てる」部門

- ・レクチオディビナ「つちや会」参加者4/24(金)11名。5/29(金)13名 次回6月26日(金)
- ・5/6(土)「祈りの集い～テゼの歌をうたいながら」参加22名 次回9/19(土)於：静岡教会15時
- ・2026年度第1回「聖書の言葉で祈る」黙想会は7/4(土)開催する 9:30～16:30 千代田教会
講師：植栗神父様(イエズス会)
- ・聖公会 ナタナエル植松誠主教様講演会について(会場：カトリック清水教会)
テーマ：「家族で共に祈る一福音に生きる・福音宣教とは一」日時：8/29(土)10:30～14:30過ぎ
プログラム：講話・質疑応答一昼食(各自弁当持参)一分かち合い一祈りの会

5. 「神の愛を証しする力を育てる」部門

- ・2026年度の活動として 2回の講演会を計画中
講師候補：①川口正義氏一寺子屋「おーぷん・どあ」主催(清水区三保)
貧困・家庭問題・不登校・人間育成・子ども育成等
②笹沼弘志氏一静岡大学教授
6/20にコムニタスで講演予定。憲法にも詳しいので現在国会で検討されている憲法改正について講演を打診する。

6. 静清地区共同宣教司牧委員会

- ・2027年5月16日（日）に静岡教会と千代田教会を統合する事が司教顧問会で承認された。
推進チームはこの日の報告を以って一区切りとし解散。
- ・八幡教会は6月20日（土）から信徒会館と司祭館を取り壊し予定。聖堂は耐震診断後、どうするかを検討予定。

7. 一粒会

- ・11/3（月・祝）第58回横浜教区一粒会大会「呼ばれています、いつも」が開催予定。13:00～16:00
会場の都合で静清地区合同バスは出ず、個人参加となるが、参加希望者は松浦さんまで。
- ・静清地区一粒会で神学校のザビエル祭（11/23勤労感謝の日）へのバス参加を企画。
子どもの参加を呼びかけ、参加費の補助も検討頂きたい。

8. コムニタス

- ・6/20（土）講演会 笹沼弘志氏（静岡大学教授）14:00～16:00

9. フィリピンコミュニティ

- ・5月24日（日）11時ミサ中にFlores de Mayoを実施。ミサ後、パーティーとミニバザーを実施
ダンスパフォーマンス、子どものゲームも実施。ミサの参列者は150名以上。

Flores de Mayo 当日の様子



10. ブラジルコミュニティ

- ・4月18日（土）、5月16日（土）18:00から清水教会でロザリオの祈りとカテケシスを実施。
- ・5月3日（日）14:30から清水教会でアンブロジー神父様司式でポルトガル語ミサを捧げた。
- ・今後清水教会ポルトガル語ミサは、祭器具、アンブロジー神父交通費、司牧活動に必要な諸経費は清水教会
財務が支払い、ミサ献金は清水教会ミサ献金とする。教会使用申請を出し、台所の調理器具や食器類を使用
可能。終了後、教会を清掃して施錠する。
- ・6月7日（日）は富士教会で、富士・三島・清水のブラジル共同体合同のFesta Juninaを開催するため清水教
会でのポルトガル語ミサは中止とする。
- ・6月20日（土）18:00から清水教会でロザリオの祈りとカテケシスを実施予定。

11. その他の報告

- ・「清水教会鍵グループ」（敬称略）：濱田壮久神父、五十嵐悦子、磯部裕子、金指公代、柴田美紀。
月曜日から土曜日までの開閉を担当。開閉時間は目安としては 午前8時頃、午後5時前後とするが固定せず、
事情に合わせる。
- ・施設清掃について：聖堂内はミサ後参加者の半分ずつで清掃を行っている。

12. 建設委員会

- ・2026年5月31日（日）開催の第64回建設委員会で、清水教会建設委員会の解散について審議し、本委員会を
以っての解散が全会一致で決定。

13. 神父様より

- ・4/11（土）の献堂式について、多くの皆様のご協力を得て31.3度の晴天の下で梅村司教様の司式で荘厳に執り行うことが出来ました。パーティーも盛大に開催することが出来ました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。
- ・4/16（木）17:00から静清地区司祭会議を清水教会で開催しました。お料理等、ご準備くださった皆様、ありがとうございました。
- ・5/1（金）、2（土）には辻原さんと田中さんのお通夜と葬儀ミサをお捧げしました。特に2日は9時と13時の葬儀ミサとなりましたが、葬儀係の皆様のご奉仕と、ご参列くださった皆様のおかげで心を込めて祈りのうちにお見送りすることが出来ました。ありがとうございました。
- ・5/3から5/11までアジア司教協議会連盟神学関係局の仕事でインドネシア出張でしたが、留守の間、教会委員の皆様をはじめ、多くの方々にお世話になりありがとうございました。
- ・5/24（日）に静清地区共同宣教司牧委員会全体会が清水教会で開催されました。今後も地区の色々な会合が清水教会で開催されると良いと思いますので皆さまどうぞよろしくお願いします。
- ・6/2（火）、静岡ハリストス正教会で、正教会の庄司神父様、聖公会の窪田司祭様、カトリックの私の共催で「正教会見学会」を開催しました。5教派13教会から52名がともに集うことが出来ました。今後もエキュメニカル（超教派）な活動を開催出来ればと思います。※下記記事参照
- ・6/9（火）聖公会の静岡聖ペテロ教会を会場として静岡市キリスト教連絡会が開催されます。超教派の教職がともに集い、交流しながら祈ります。実り豊かな会合となるようお祈りください。
- ・6/16（火）19:00から静岡・清水市民クリスマス実行委員会が清水教会で開催されます
- ・八幡聖母幼稚園の建て替えにあたり、耐震性に問題があった八幡教会の司祭館・信徒会館の解体工事が6/20から開始されます。事故無く無事に終わるようどうぞお祈りください。
- ・入門講座について、静清地区では静岡教会を会場として「ともに歩む集い」を開催していますが、清水教会での講座の希望もあり、月1回土曜日の夕方に濱邊さんの入門講座を私の指導で実施しています。今後、月1回、木曜日の10時ミサ後に受洗希望者のための入門講座も開講予定です。木曜日についてはどなたでもご参加いただけるようにしようと考えています。
- ・2026年待降節黙想会と2027年四旬節黙想会についてどのように実施するか担当の方は検討してください。
- ・保育園下の駐車場について、入口の部分が削れて砂利が飛んでしまっているので、社会福祉法人が手配・出資して修繕予定。

静岡ハリストス正教会訪問

セシリア・ジャンヌダルク 山本博美

6/2（火）に見学させていただいたハリストス教会は、絵や装飾などとてもきれいでした。これまで私は他の宗派の方々とお話する機会はあまりありませんでしたが、今回初めていろいろな宗派の方々と一堂に会して、宗派が違っても同じキリスト者であることをあらためて感じさせていただきました。



5月31日(日)、濱田神父さまと7名の建設委員で第64回建設委員会を行いました。

前回の建設委員会からちょうど3ヶ月、その間無事に献堂式が執り行われ、新しくなった清水教会での活動が始まりました。今回で建設委員会は解散となりますので、これが最後の委員会です。

はじめに財務担当から献堂式の献金や現在の清水教会の財務状況についての報告がありました。多くの皆さまのご協力や濱田神父様の堅実な資金計画のおかげでここまで順調に建設ができましたこと、改めて感謝いたします。これからは横浜教区からの借入金2,200万円を早期返済できるよう、引き続きよろしくお願いいたします。

次に、神父様から現時点で納期の来ていないものについての現状報告をしていただきました。今後数ヶ月の間に、現在仮に設置してあるブローニュの聖母子像の台座やご聖櫃が設計通りのものになります。

また、年内には聖堂入って右側壁面に聖歌集入れの棚が、そして、集会室にも腰高の棚が入る予定です。まだ完成ではありませんが、今後の事は教会委員会に委ねることを全会一致で決定しました。

その後、建設を終えてのふりかえりと実際建物を使ってみての感想を一人ひとり発言していったのですが、皆共通することは、大変なことは沢山あったが、いつも神さまのお恵みを感じる不思議な出来事によって助けられた、知識もノウハウもない自分達を濱田神父様が力強く引っ張って下さったおかげでここまで来ることが出来たということです。建物については幾つか今後の検討課題も出ましたが、それぞれの場所が使い勝手よくできたという意見が多く出ました。

建築士の石原先生と清水教会信徒の皆さまは勿論、4年半にわたってお世話になった上にチャリティコンサートまで企画して送り出して下さった草薙教会の皆さま、この紙面ではお礼をお伝え出来ませんが新聖堂建設に関わって下さった全ての皆さまに建設委員一同心より感謝申し上げます。

※最後に、濱田神父様から建設委員に向けていただいたお言葉を掲載させていただきます。

2023年4月に赴任して最初の主日のミサの参列者は23名でした。ここから新しい聖堂を借金をして建てるのか…、どうなるのだろう、神さま助けて下さい、と本気で祈ったあの日のことは一生忘れません。しかし、それから3年。新しい聖堂が建って、先週のフローレス・デ・マヨでは赤ちゃんから年配の方まで様々な国籍の方が150人ほど集まって皆で聖母マリアを賛美し、祈ることが出来たのは素晴らしいことだったと思います。そういう意味では清水教会の持っているポテンシャルがどれほど大きなものであるかを3年の中で感じる事が出来ました。建設の事に関しては月1回の建設委員会だけでは間に合わない場合も、建設委員会LINEでオンライン審議を活用することでこれだけ短期間で献堂式を迎えることが出来たと思っています。ウィークデーでも情報共有した時、すぐご意見を頂けたことが大きな前進する力になっていました。ウィークデーの時間、1ヶ月に一回の会議という場所以外での皆さんの合意形成、コンセンサスを作るというプロセスがすごく大きな追い風となり、カトリック教会の建物の建て方としては異例の速さで進んでいきました。一つひとつの出来事についてきちっと合意を作り、固めていき、教区への報告もし、教区建設委員会へも報告し…、という形で手続きに則って肅々と進めることができたという点で皆さんの働きは大きかったと感謝しています。その上で新しい聖堂のプランができるまでの間に石原先生にはこれでもかというほど設計図を引き直し続けて頂いたという意味で、非常に迷惑をかけた教会だということは自覚しています。石原先生の忍耐強さも、私たちがこの素晴らしい教会で自分たちの信仰生活を手にしている大きな理由です。あれだけ早く図面を引き直して下さる設計士は見たことがありません。プロポーザル当初とは全く違う建物になっていますが、本当に使い勝手の良い建物にすることができたと思っています。その点で建設委員の皆さんのご意見がこうして実を結んでいるので、これで建設委員会を解散しますが、今度は次の世代もさらに次の世代も清水という場所でカトリック信仰共同体として足腰強く歩いて行ってくれたらという期待を次の世代に向けていながら歩いて行ければと思っています。



ベルナデッタ 金指 公代 記